

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 宮島、仲島

2. 山域／ルート 葛川本流（敗退）

3. 交通手段 自家用車

4. 行動記録

<入山日 2015 年 6 月 13 日>

6/12(金) 21:15 JR 尼崎発— 24:00 十津川道の駅(仮眠)

6/13(土) 5:30 道の駅発—6:30 田戸橋—7:00 出発(下降開始)～

7:10 入渓～8:10 S 字淵入口～9:00 S 字淵最終難所＝10:00 撤退～10:50 S 字淵入口から上部の林道へ—11:00 駐車場—温泉地温泉(滝の湯 600 円) —16:30 JR 尼崎

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

- ・梅雨の真っ只中、前日の午前にも小雨が降っていたが、当日は梅雨の合間の晴れで天候には恵まれた。
- ・S 字淵の最後のゴルジュが流れが速すぎて突破できなかった。二人合わせて 20 回ほど突破を試みたが、すべて押し戻されて流された。
- ・時間がかかりすぎて、全体の 1/10 の距離しか進めていないのに 3 時間経っていた。
- ・この地点で撤退を決めた。
- ・撤退は S 字淵入口まで戻ると、左岸を登ってすぐに林道に出られた。寒く流れの速い中を泳いで戻らなくて済んで助かった。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

- ・最後の S 字淵を除いて 3 回ほど流された。2 回は S 字淵の手前を遡行中。アンザイレンしており、引っ張ってもらう。1 回は S 字淵を泳いで撤退中に爆流の淵のほうへ流されそうになったが、手を掴んで引き上げてもらい、命拾いする。
- ・流されたときにザイルが足に絡まってバランスをくずすことがあった。ザイルの位置を確認して絡まないようにしないと危険。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

- ・流されたときにザイルが絡まる事項について検討。流されたときも、パニックにならず落ち着いて行動する必要がある。
- ・寒さ対策が必要。水は冷たく、ネオプレンのウエアを着ていても寒く、S 字淵の最終難所ではお湯を飲みながら突破をトライした。水は一回も飲まなかった。
- ・6 月の梅雨の時期に行く沢ではない。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

数日前に入渓したパーティーから、激流で撤退した旨を聞いていた。上ノ廊下よりもエグいと事前情報に不安を覚えた L は、場所を変更することも考えたが、遡行目的が上ノ

廊下のトレーニングであるため、一応行ってみようということになった。

下降地点はすぐのため完全沢装備をして下る。普段の沢並みの傾斜であったが、足を滑らせて1回滑る。こんなところでも滑って崖を落ちたら大怪我である。入渓すると結構な流れ。安全のために最初からザイルを出して渡渉する。2回目の渡渉で早くも流される。しかしながらNの頑張りにより、S字淵もピッチを2回に区切って、ゴルジュ最後の難所までは来れた。ここまででも望外の出来。激流の葛川を突破できれば上ノ廊下へ向けてのかなりの自信になる。

しかし、この最大の難所がクリア出来ず。ブログ等の事前調査で、ここが葛川本流の最初で最大の難所であるらしいが、通称青の洞窟？から右岸をへつって突破しようとするも、手がかり、足がかりが途切れてうまくいかず。一人4回ほどトライすると、ずっと上半身まで水に浸かっているために寒くなる。お湯を飲んで交代を繰り返す。しかし何回やってもダメ。最後に、右岸から左岸に流されながら飛び移って、少しへつり、さらに左岸に飛び移り・・・でとうとう突破したか！！と岩陰でビレイしていたLは思ったが、が、ダメ。結論として、上記を2,3回繰り返せれば突破できそうということになったが、体力も消耗し、時間もかかり過ぎたので、ここで撤退を決める。

岩に手がかりが少ないこともあり、スカイフック等の引っ掛け道具(山溪の沢本に記載されている)が必要だった。カムはリードおよびセカンドのザックを流されないように岩に引っ掛けておくのに活躍した。沢にカムは必須。

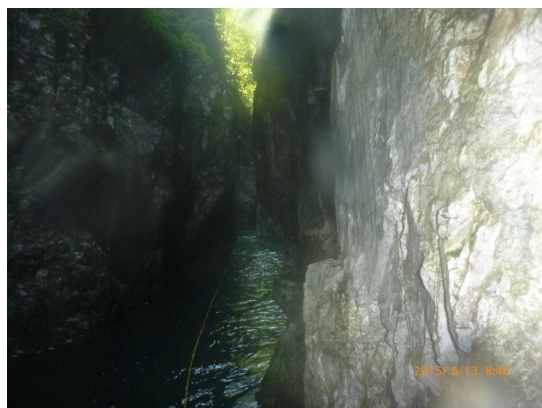
撤退はS字淵を泳いで下った。泳ぎの下手なLは、最後のS字淵入口で爆流の淵のほうに流されてしまい、危うく飲み込まれるところだった。手を掴んでももらい助かる。今回は流されまくってかなり怖かった。

S字淵入口からはちょうど林道に登れる良い斜面があり、爆流を下ることなく林道に出られた。林道から駐車場までは歩いてたった5分！！こんなわずかな距離を3時間も苦闘していたとは。。。

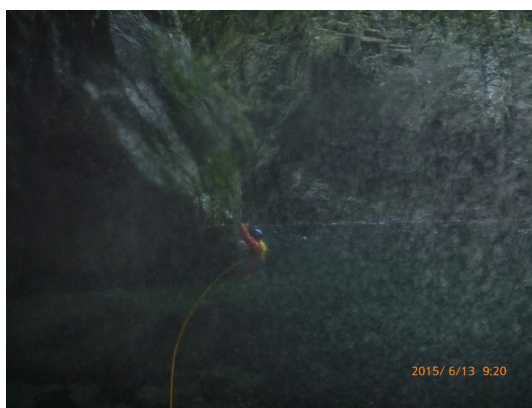
やはり時期を選んで、きっちりやらないと沢は危険だと思った。

遡行終了地点にデポしただけで終わったMTBを回収しに戻り、硫黄単純泉に入って飯食って帰宅。

寒さ対策、泳ぎ対策・・・葛川もまた新たな課題の一つに加わった。



S字淵中央部



S字淵最難部突破をトライ